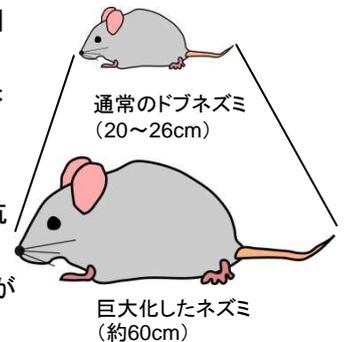


□ トピック □ 巨大化したネズミ

今年1月、英紙「デイリー・ミラー」の報道により、ホームレス収容施設でネズミの被害が報告され、そのドブネズミの体長はしっぽを含めると約60cmで、ネコほどの大きさであったことが注目されました。普段駆除対象となるドブネズミは通常大きくても30cm程度ですが、巨大化の原因について専門家は、突然変異であると考えており、今後ネコよりも大きいカピバラほどの大きさのものが出現するのではないかと推測されています。

なお、巨大化したネズミは大きい音でドアを閉めたとしても、驚きも逃げもしないため、今までのネズミと比べると行動にも変化が起こっているようです。また、巨大ネズミは殺鼠剤への抵抗性をすでに示しているとされています。

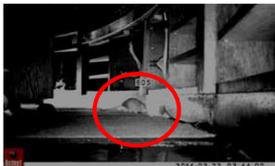
現在、日本ではこれほどの大きさのネズミは確認されていませんが、今後巨大化したネズミが発見されることも考えられます。ネズミでお困りの方は、こういった情報もありますので、より一層ネズミへの防除方法を検討していく必要があるかもしれません。



□ お知らせ □ 暗闇で撮影可能なセンサーカメラ



・センサーカメラ



・工場内に設置したセンサーカメラに映るネズミ

飲食店や工場などで小動物(家ネズミ3種、イタチ、ハクビシンなど)が建屋内や天井裏などに生息し、様々な被害をもたらしていることはよく知られています。特に多く報告されるのが、ネズミによる被害です。被害の中には、配線を齧られショートすることで火災の原因になること、商品を糞・尿などで汚されてしまうこと、病原菌(サルモネラ病、腸炎ビブリオなど)の伝播をすることもあります。

なお、ネズミによる被害を防止のためには、侵入口や行動範囲を把握する必要がありますが、なかなかネズミの行動を把握することは難しく、防除も難しい場合もあります。その際、弊社でお勧めしているのが、「センサーカメラを使用した行動の把握」です。センサーカメラには動体検知センサーが内蔵されており、動くものを自動で撮影、録画をすることが可能です。また、暗闇の中でも10m位の範囲を撮影することができるため、ネズミの行動を観察することができ、上手く使えば、侵入口、活動状況などを把握することができます。

ネズミによる被害がなかなかおさまらない場合には、ネズミの驚くような行動(捕鼠材を飛び越える、避けるなど)が原因であることが多くあります。よりよい対策を行う際や、対策後の確認などに使用する場合には、レンタル機もご用意しておりますので、お気軽にご相談ください。

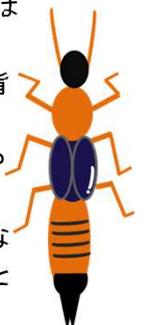
□ 豆知識 □ 別名「やけど虫」という名の昆虫

気温が高くなる時期には、蚊や毛虫などに刺される被害が多く見受けられます。また、夏に向けて問題になるのは林や藪などに多く生息している、アオバアリガタハネカクシというハネカクシ科の昆虫による被害です。

このアオバアリガタハネカクシは体長6.5~7.0mm、頭部と後胸は黒色、前胸・中胸は橙黄色、翅は青緑色、腹背は橙赤色で、見た目は鮮やかです。

では、なぜこの昆虫による被害が多いのでしょうか。それは、林や藪にいるアオバアリガタハネカクシが人の腕や足などに止まり、これを払い落としたり、こすり落としたりすると、体液(ペデリンという有毒物質)が糸を引くように付き、その後痒み、発赤、水泡などが生じるためです。また、目に体液が入ってしまった場合には、激しい痛み、結膜炎などの症状に見舞われます。このペデリンという有毒物質は成虫のみではなく、卵、幼虫、蛹の段階でも持っていると言われています。

アオバアリガタハネカクシの被害にあわないためには、林や藪に無闇に入らないこと、屋内(建物内)に誘引しないよう、ライトコントロールを行うこと、網戸は開放したままにしないことなどが挙げられます。また、液体が皮膚に付着した場合には水でよく洗い流し、副腎皮質ホルモンを含む軟膏などを患部に塗布することをお勧めします。



アオバアリガタハネカクシ



総合衛生コンサルタント・生物害防除

東洋産業株式会社

URL: <http://www.to-yo-s.co.jp>

本社: 岡山県岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL(086)241-8080 FAX(086)241-8094

拠点: 大阪, 姫路, 岡山, 倉敷, 福山, 広島, 高松, 松山
関東(市川)